

記事内容

- ☆平尾会長2024年頭挨拶
- ☆女性委員会「第35回定期総会」
- ☆青年委員会「第35回定期総会」
- ☆埼玉シニア連合「第27回定期総会」「結成30周年記念パーティー」
- ☆連合埼玉推薦候補予定者(2次)
- ☆組合役員教育プログラム2024年度年間スケジュール
- ☆1月の行動日程/こくみん共済coopお知らせ
- ☆あけぼのビル



～2024年頭挨拶～ 包摂的で持続可能な社会に向けて

～すべての働く仲間と「はたらくのそばで、ともに歩む」～

明けましておめでとうございます。

連合埼玉組合員とご家族の皆様には、よいお年を迎えられたことと心よりお慶びを申し上げます。また、日頃の連合埼玉の諸活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

連合は、新たな運動のキャッチコピーとして、「はたらくのそばで、ともに歩む」を掲げました。新たな気持ちで、働く者に寄り添う連合としての挑戦を続けていきます。

はたらくのそばで、
ともに歩む

【連合:新しいキャッチコピー(ロゴマーク)】

昨年の春闘では、約30年ぶりとなる賃金水準の引き上げが実現しましたが、平均の賃上げ率は、物価上昇を上回ることができませんでした。

今年の春闘では、「5%以上の賃金水準の引上げ」を方針に掲げ、継続した賃上げを実現する必要があり、「賃金は、持続的に上がっていく」との機運を醸成する必要があります。

特に、埼玉県では、多くの中小企業の皆さんにも、賃上げをおこなって頂く必要があり、労務費を含めた適正な価格転嫁を進め、同時に賃上げも進めていくこと強く訴えていきたいと思います。

また、人口減少・少子高齢化社会において、生産年齢人口が減少し、私たちの職場、現場でも、人手不足が顕在化しています。中でも、今年は2024年問題として、4月から

トラック運転手などの残業時間の上限規制が始まることで物流などのドライバー不足も懸念されています。

誰もが、子育てや介護をしながら、安心・安全に働ける環境を整備し、多様な人材が活躍できる職場づくりを進めていく必要があります。同時にデジタル化などの生産性の向上に向けた、人材育成を一層進めていく必要があります。

そして、私たちの社会は、政治の重要性を改めて感じさせられる状況にあります。ロシアによるウクライナ侵略や中東のパレスチナとイスラエルとの戦闘など、その国の政治が判断した行動に他なりません。国内でも、政治資金パーティー問題など、政治と金をめぐる問題は後をたたず、国民不在の政治が進んでいます。

今こそ、国難と言われたコロナ禍を乗り越えた先に、地球温暖化、少子高齢化・人口減少社会の中で、包摂的で持続可能な社会に向けて、次の世代につなぐ社会像を示していくことが政治に求められます。

私たちは、労働者の立場に立った政策・制度の実現に向けて推薦議員と連携しながら、労働運動を進めていきます。

連合埼玉は、多様な知見を有する様々な団体とも対話を重ね、連携をはかりながら、すべての働く仲間が安心して働ける社会の実現に向け、活動を展開していきたいと思います。

本年が皆様にとって実り多い一年となりますことを祈念いたします。



平尾幹雄会長

女性委員会「第35回定期総会」開催！

ジェンダー平等をはじめとする『真の多様性』が根づく職場・社会の実現にむけて！



11月27日(月)あけぼのビルにて「第35回定期総会」を開催しました。

冒頭、藤井委員長より「新型コロナウイルス感染症が第5類となり、4年振りの通常開催が出来ることを嬉しく思います」と述べられた後に1年間の活動を振り返り『STEP UPセミナー上級編』が開催できたことや女性委員会では、初めてとなる『役員体験学習(国会議員との意見交換会)』などの報告がありました。その後、来賓挨拶では、連合埼玉の平尾会長、埼玉県議会議員の江原議員よりご挨拶をいただきました。

その後、2023年度活動報告・会計報告に続き、2024年度活動方針・予算・2024年度の役員体制について、満場一致で可決・承認されました。新役員を代表し、藤井委員長より「役員が大幅に変わりますが、全員で協力し、連合のキャッチフレーズである《必ずそばにいる存在》になれるよう活動を進めて参ります」との所信を述べ、来期に向け全員で意思統一をおこない、総会は閉会しました。 記 春田 菊枝



■2024年度役員

役職名	氏名	出身産別/単組
委員長	藤井 久恵	政労連埼玉地連
副委員長	細川千恵子	ユニオン連合埼玉
	春田 菊枝	運輸労連埼玉県連
事務局長	深津 滯	電機連合埼玉地協
事務局次長	夏川由美子	UAゼンセン埼玉県支部
幹事	田村 千紘	自動車総連埼玉地協
	三宅真亜子	自動車総連埼玉地協
	二野宮裕子	JAM埼玉
	半田 純子	J P労組埼玉連協
	目崎 友貴	情報労連埼玉県協議会
	滝瀬 祐	埼玉県電力総連
	山北めぐみ	埼交連
	鈴木 初美	関東信越国税労働組合
	滝澤千恵美	埼玉教組
渡辺 瑠衣	労済労連	

女性委員会「体験学習会」開催！

全ての働く仲間に癒しを提供！『苔テラリウム』制作体験を実施！

株式会社リウム 苔のインテリア コケリウム代表の岡村 真史氏による癒しの「苔テラリウム」制作体験をおこないました。土・木・石・観葉植物・苔を使用し、同じ説明を受けて作成しましたが、出来上がりは同じ作品は1つも無く、参加された皆さんの個性溢れる作品が完成しました。

今後も様々なセミナーを開催し、参加者の今後の活動の参考になるようにつとめていきます。

記 春田 菊枝

セミナーフォト



青年委員会「第35回定期総会」開催

次世代育成につなげる運動の推進・展開

2023年11月22日(水)、あけぼのビルにて、「青年委員会第35回定期総会」を開催しました。

木村委員長の挨拶では「私たち青年委員会は、次世代を担うリーダーの育成を目的としており、様々な取り組みをつうじ、活動に参加・参画した方々が、“参加して良かった”と思える活動にしていかなければなりません。若者の「理解・共感・参加」が得られ、また次の世代に、この思いや意思を繋いでいけるよう、青年委員会が一丸となって運動を進めていくことが重要です」と述べられました。

総会では、これまで1年間の活動報告・会計報告の確認がおこなわれ、続いて2024年度の活動方針・予算・役員体制が提起されました。すべての議案について、満場一致で可決・承認され、新たな体制のもと2024年度の活動がスタートしました。



木村新委員長



新執行部

■2024年度役員体制表

役職	氏名	構成組織名
委員長	木村 祐一	JAM埼玉
副委員長	會田 友樹	自動車総連埼玉地協
	桐山 正章	印刷労連関東北部地方協議会
事務局長	齋藤 恵洋	電機連合埼玉地協
幹事	筒井 泰樹	UAゼンセン埼玉県支部
	野崎 頌一郎	J P 労組埼玉連協
	星野 貴旭	情報労連埼玉県協
	西崎 由宇	埼玉県電力総連
	室伏 真二	運輸労連
	清水 夕貴	埼交連
	國岡 真	J E C 連合
	川嶋 俊平	全国ガス
	平良 光児	政労連埼玉地連
	松本 瑛太	中央労金労組埼玉統括支部



総会参加者の集合写真

青年委員会セミナー開催報告



セミナー講師陣

青年委員会第35回総会と同日に、セミナーを開催しました。「LGBTQの基礎知識」をテーマに、講師陣として、さいたま市議三神 尊志氏、さいたま市パートナーシップ宣誓制度請願者・宣誓第1号である稲垣 晃平氏と立崎 聖也氏をお招きし、ご講演を頂きました。さいたま市における宣誓制度構築までの道のりや、今後も山積している課題など、ご自身の経験談を踏まえた貴重なお話を伺うことができました。参加者のみなさんは熱心な姿勢で講話に耳を傾け、質疑応答も活発におこわれたことで、参加者一同、より一層理解を深めることができました。

「生き生きと安心して暮らせる社会にしよう！」

埼玉シニア連合「第27回定期総会」開催

11月29日(水)さいたま共済会館で、第27回定期総会が開催されました。主催者を代表し、橋詰会長から「総会で決定した運動方針にもとづき、社会的共感を得られる活動を進めていきます。そのためには自己の健康を維持するため、仲間との親睦・交流を深めていきましょう」と述べられました。その後、来賓として、連合埼玉の平尾会長、埼玉労福協の佐藤専務理事、中央労働金庫埼玉県本部の谷内常務理事から、ご挨拶を頂きました。

続いて2023年度活動経過報告および会計・監査報告が提案され、満場一致で承認されました。議事では、第1～4号議案までがそれぞれ提案され、いずれも満場一致で可決・承認されました。

活動方針では、①組織強化と拡大に向けた活動、②連合埼玉と連携および政策制度改善の取り組み、③退職者連合と連帯した活動の展開などの諸活動方針が提起されました。

最後に、今総会をもって退任される小穴事務局次長から退任の挨拶を頂き、総会は閉会しました。

その後、埼玉シニア連合結成30周年記念パーティーを、43名の参加者で開催しました。その中、余興としてJAMシニアクラブの渡辺京子さんから「南京玉すだれ」、東電労組役員OB会の小島勝美さんから「江差追分」のご披露もあり、大盛況のうちに終了しました。

■2024年度役員体制

役職	氏名	出身組織
会長	橋詰 康昭	JR総連
副会長	林 久詔	JAM埼玉
	竹花 康雄	自動車総連
事務局長	青木 光明	電機連合
事務局次長	矢島 規雄	連合埼玉
幹事	鈴木 昭二	運輸労連
	野澤 一彦	国公総連
	石田 光男	電力総連
	仲井 和幸	情報労連
	大谷 良雄	UAゼンセン
	神木 和夫	JP労組
	野沢 節子	自治労
	福田 博之	JR総連
	安形 裕行	JAM埼玉
会計監査	長峯 友作	私鉄総連
	駒込 登	JAM埼玉



橋詰会長あいさつ



退任する小穴事務局次長



新執行部



30周年記念パーティ風景

衆議院議員選挙 連合埼玉推薦候補予定者 一次・二次の推薦決定! (2023年12月6日現在)

埼玉第1区



たけまさ 公一
元職6期/立憲民主党

埼玉第3区



竹内 千春
新人/立憲民主党

埼玉第5区



えだの 幸男
現職10期/立憲民主党

埼玉第6区



大島 あつし
現職8期/立憲民主党

埼玉第7区



こみやま 泰子
現職7期/立憲民主党

埼玉第8区



いちき 伴子
新人/立憲民主党

埼玉第9区



すぎむら 慎治
新人/立憲民主党

埼玉第10区



坂本 ゆうのすけ
現職3期/立憲民主党

埼玉第12区



森田 としかず
現職2期/立憲民主党

埼玉第13区



橋本 みきひこ
新人/国民民主党

埼玉第14区



鈴木 よしひろ
現職3期/国民民主党

埼玉第15区



高木 れんたろう
元職1期/立憲民主党

埼玉第16区



三角 そうた
新人/立憲民主党

投票に行こう!

【選挙区別 該当市区町村】

選挙区	市区町村
埼玉1区	さいたま市見沼区・さいたま市浦和区・さいたま市緑区
埼玉2区	川口市の一部区域
埼玉3区	川口市の一部区域、越谷市
埼玉4区	朝霞市、志木市、和光市、新座市
埼玉5区	さいたま市西区・さいたま市北区・さいたま市大宮区・さいたま市中央区
埼玉6区	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市
埼玉7区	川越市、富士見市
埼玉8区	所沢市、ふじみ野市、三芳町
埼玉9区	飯能市、狭山市、入間市、日高市、毛呂山町、越生町
埼玉10区	東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町
埼玉11区	秩父市、本庄市、深谷市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町
埼玉12区	熊谷市、行田市、加須市、羽生市
埼玉13区	久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、伊奈町、宮代町、杉戸町
埼玉14区	草加市、八潮市、三郷市
埼玉15区	さいたま市桜区・さいたま市南区、蕨市、戸田市
埼玉16区	さいたま市岩槻区、春日部市、吉川市、松伏町

2024年度組合役員教育プログラム年間スケジュール

多数の受講者をお待ちしています！

2024年度の「組合役員教育プログラム」は下記のスケジュールで開催します。

実務講座の募集は終了しましたが、基礎講座は3月、スキルアップは5月に受講者の募集をおこないます。参加される方が計画を立てていただくために年間スケジュールをご案内します。

本年度は実務講座・基礎講座・スキルアップ講座ともに、対面方式での開催を基本としますが、感染症などの状況を見極めつつ運営していく必要があるため、開催2カ月前の執行委員会で開催方法を確認・決定します。

★実務講座

時間:全講座

14:00～18:00

会場:①さいたま共済会504
②あけぼのビル501

開催日	講義内容
1月17日(水)	①三六協定の実務(時間外労働と休日労働)
1月20日(土)	②団体交渉・労使協議の進め方
1月24日(水)	①労働組合が取るべき経営対策活動とは？
1月27日(土)	①メンタルヘルスと職場での取り組み方
1月31日(水)	②キャリア開発(より良い働き方を考える)
2月 3日(土)	①ミッション・ビジョンの重要性(過去から未来へ)

★基礎講座

時間:全講座

10:00～17:00

会場:全講座
あけぼのビル501

開催日	講義内容
5月15日(水)	労働組合の意義と機能
	組合役員の立場と役割
5月18日(土)	組合役員のためのコミュニケーション力開発 ①(リスニング)
	会議の進め方①(職場討議・集会の進め方)
5月22日(水)	これだけは知っておきたい労働法(労働法初級)
	健全な労使関係と働き方のルール(労働法中級)
5月25日(土)	労働組合の社会的役割～労働運動の起源
	埼玉県労働福祉運動の役割

★スキルアップ講座

時間:①10:00～17:00

②14:00～18:00

会場:全講座
あけぼのビル501

開催日	講義内容
7月 6日(土)	②プレゼンテーション(納得性を高める伝え方)
7月10日(水)	①組合広報誌の作り方
7月13日(土)	②組合役員のためのコミュニケーション力開発②(アサーション)
7月17日(水)	①組合役員のためのコミュニケーション力開発③(コーチング)
7月24日(水)	①会議の進め方②(ユニオンファシリテーション)
7月27日(土)	②イベント企画の立て方とその運営

現在予定される1月の日程表です

1月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	月	
2日	火	
3日	水	
4日	木	
5日	金	埼玉新聞社「2024新年賀詞交換会」(17:00～・パレスホテル大宮)
6日	土	
7日	日	
8日	月	電機連合埼玉地協「2024新春旗開き」(18:00～・ホテル木暮)
9日	火	
10日	水	①第2回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館) ②2024新春のつどい(16:00～・ときわ会館)
11日	木	①建設埼玉「2024年新春の集い」(15:00～・ザ・マークランドホテル) ②埼玉県社会保険労務士会「社会保険労務士制度創設5周年記念事業祝賀会」(16:30～・ホテルプリランテ武蔵野) ③部落解放同盟埼玉県連「2024年新年旗開き」(17:30～・ホテルガーデンパレス)
12日	金	①埼玉県経営者協会「令和6年新年会員懇談会」(13:30～・パレスホテル大宮) ②情報労連「2024新春の集い」(15:00～・ときわ会館)
13日	土	
14日	日	災害ボランティア救援隊「隊員研修(初級)」(10:00～・JAM埼玉友愛会館)
15日	月	埼玉県地域活性化雇用創造プロジェクト推進会議(14:00～・さいたま共済会館)
16日	火	災害ボランティア救援隊「第1回運営委員会」(10:00～・連合埼玉会館)
17日	水	2024組合役員教育プログラム「実務講座⑨」(14:00～・さいたま共済会館)
18日	木	①地方連合会「新任事務局長会議」(10:00～・連合会館) ②埼玉大学寄付講座(ILEC)(16:20～・埼玉大学)
19日	金	①埼玉労福協「第5回理事会」(10:00～・ときわ会館) ②比企地域協議会「第2回地協幹事会」(18:00～・ボッシュ労働組合)
20日	土	①「2024連合白書」説明会(16:00～・Zoom開催) ②JP労組埼玉連協「2024年新春の集い」(17:00～・マロウドイン熊谷) ③秩父地域協議会「第21回定期総会」(18:00～・19:30～・秩父農園ホテル)
21日	日	①2024春季生活闘争「パワーアップセミナー」(10:00～16:30・大宮ソニックシティ) ②2024組合役員教育プログラム「実務講座⑩」(14:00～・あけぼのビル)
22日	月	吉川市議会議員選挙告示日
23日	火	熊谷・深谷・寄居地域協議会「第9回地協総会」(18:30～・深谷市役所大会議室)
24日	水	2024組合役員教育プログラム「実務講座⑩」(14:00～・さいたま共済会館)
25日	木	金属労協「最低賃金連絡会」
26日	金	第1回フェアワーク推進委員会(10:00～・連合埼玉会館)
27日	土	①2024春季生活闘争「パワーアップセミナー」(10:00～16:30・大宮ソニックシティ) ②2024組合役員教育プログラム「実務講座⑪」(14:00～・さいたま共済会館)
28日	日	①運輸労連埼玉県連「2024新春の集い」(14:00～・ホテル鬼怒川御苑) ②吉川市議会議員選挙投票日
29日	月	①地方連合会「組織拡大担当者研修会」(14:00～ 30日・連合会館) ②連合関東ブロック「女性会議」(14:30～・東京ダイズニランドホテル)
30日	火	①地方連合会「政策担当者会議」(10:00～・Zoom開催) ②JAM埼玉「躍進パーティー」(17:30～・パレスホテル大宮) ③JR総連埼玉県協議会「2024年旗びらき」(18:00～・ベルヴィ大宮サンパレス)
31日	水	2024組合役員教育プログラム「実務講座⑬」(14:00～・あけぼのビル)
		北方領土教育者会議(15:00～・埼玉会館)

連合関東ブロックとこくみん共済 coop 関東統括本部の共創活動により生まれた新たなたすけあいのしくみ

2020年9月 事業スタート



親を喪った子どもたちのゆめを
みんなで支えていく。
未来のはたらく仲間への、支援のかたちです。

ともにつくるゆめ基金

一般社団法人ともにつくるゆめ基金〈支援プログラム〉
ともにゆめをはぐくみ、ゆめへのチャレンジをサポートします。

2020年6月1日以降に事案が発生した支援対象者に適用されます

ゆめ育成支援金

0歳～24歳まで毎年の誕生日(誕生日)に、
1万円分(ポイント)の支援を行います。

+

ゆめ応援支援金

0歳～15歳までのあいだに → 15万円(ポイント)
16歳～24歳までのあいだに → 15万円(ポイント)

ともにつくるゆめ基金の支援概要についてはホームページをご確認ください。
一般社団法人ともにつくるゆめ基金事務局 | <https://www.tomoni-yume.org>



連合 連合群馬 連合栃木 連合茨城 連合埼玉 連合千葉 連合東京 連合神奈川 連合山梨 共済経済本部 埼玉経済本部 栃木経済本部 群馬経済本部 埼玉経済本部 東京経済本部 神奈川経済本部 山梨経済本部 2020C004



◆輝かしい1年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新年を、ご家族揃ってお迎えのこととお慶びを申し上げます。

本年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

2024年(令和6年)の干支は辰年となります。

辰年は、陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だと言われています。また、たつ(竜、龍)は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、出世や権力に大きくかわる年とも言われています。

「竜」は、古代中国の神話で神獣とされているので、中国では皇帝のシンボルとなっているそうです。そのため、竜顔=帝王の顔、竜衣=帝王の衣服、竜影=帝王の姿など帝王にまつわるものには竜がつくことが多く、最上級の意で竜を用いることもあるそうです。また、竜は四神(青竜、朱雀、白虎、玄武)の一つで、水中に棲むとされ、なき声で嵐や雷雲を呼び、竜巻となって昇天し、飛翔するとも言われています。

さらに、竜の姿は「竜に九似あり」と言われているように、角は鹿、頭は駱駝、目は鬼、身体は蛇、腹は蟹(想像上の動物)、鱗は鯉、爪は鷹、掌は虎、耳は牛に似ており、長い髭を蓄えて、あごの下に1枚だけ逆さに生えた逆鱗(げきりん)があるそうです。竜はこの逆鱗に触れられるのが大嫌いで、触れられると激昂すると言われており、普段の会話の中でも、相手を怒らせることを「逆鱗に触れる」と表現されることもあります。

是非とも、今年1年の中で、たつ(竜、龍)にかかわる下記的神社などを参拝してみたいかかでしょうか。

<九頭竜(くずりゅう)>

日本各地に九つの頭をもつ竜の伝説があり、それにまつわる地名や神社などがあります。

- ・九頭竜神社(埼玉県坂戸市)
- ・九頭龍神社(埼玉県坂戸市)
- ・九頭龍大権現(埼玉県比企郡川島町)
- ・戸隠神社 九頭龍大神(埼玉県狭山市)など

<鳴竜(なきりゅう)>

天井に大きな竜が描かれており、真下で拍手を打つと竜が鳴いているように響く仕掛けなどがあります。なお、日本の東西南北4ヶ所にあった鳴竜(なきりゅう)を「日本四方鳴竜」と呼んでいるそうです。

- ・日光東照宮(栃木県)・・・東
- ・相国寺(京都府)・・・西
- ・妙見寺(長野県)・・・南
- ・青森竜泉寺(青森県)・・・北

新年を迎えると、まず「2024春季生活闘争」対応がスタートします。

2024春季生活闘争は、経済も賃金も物価も安定的に上昇する経済社会へとステージ転換をはかる正念場と位置付けており、その最大のカギは、社会全体で問題意識を共有し、持続的な賃上げを実現することにあります。そして、すべての働く人の生活を持続的に向上させるマクロの観点と各産業の「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組み強化を促す観点から、前年を上回る賃上げをめざすこととしています。

現在、社会的な賃上げの機運は高まっており、それらをしっかりとした形に整えていくことが重要と考えています。

◆昨年(2023年)を振り返る

昨年12月、京都の清水寺において、今年1年の世相を漢字ひと文字で表す「今年の漢字」が発表され、「税」の文字が選ばれました。

なお、「今年の漢字」は、「日本漢字能力検定協会」(京都市)が、その年の世相を表す漢字ひと文字を一般から募集し、最も多かった字が選ばれています。また、「税」の文字が選ばれたのは、消費税率が引き上げられた2014年以来、2回目となります。

今年の漢字に、「税」の文字が選ばれた理由としては、この1年間を通して増税の議論がおこなわれたことに加えて、所得税などの定額減税が話題にのぼったことや、インボイス制度の導入やふるさと納税のルールの厳格化など、「税」にまつわる様々な改正や検討がおこなわれたことなどが挙げられていました。

今年(2023年)の漢字 トップ10

1	2	3	4	5
税	暑	戦	虎	勝
5,976票	5,571票	5,011票	4,674票	4,653票
6	7	8	9	10
球	高	変	増	楽
3,485票	3,468票	2,955票	2,711票	2,472票

そして、2番目には「暑」の文字が選ばれました。選ばれた理由としては、夏の平均気温を気象庁が統計を取りはじめてから、最も高くなったことなどが挙げられていました。

個人的には、「戦」を挙げておきたいと思います。理由としては、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエル軍とイスラム組織ハマスの軍事衝突、ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で日本が優勝したこと、そして何よりも、統一地方選挙や埼玉県知事選挙などの各種選挙対応が年間を通してあったことが挙げられます。

来年こそは、軍事衝突が一刻も早く解決し、国民の生活などに対する不安が解消され、国民すべての人々が和むように、そして安心できるように「和」または「安」という字が選ばれることを願っています。

2023.12.21